

事業所名		ほみいくらぶ だて		公表日			令和7年2月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員に対し、指導訓練室のスペースが適切であるか	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	○		・職員は配置されており、体制は充実している ・急な個別対応にも対処出来る職員配置数であると思っている		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化や環境上の配慮が適切になされているか	○		・室内には段差がなく、車いすの移動も問題なく出来ている		
	4	送迎中の乗車や降車の際に車内の確認や消毒を徹底して行っているか	○		・毎回消毒を行っている ・新型コロナウイルスが蔓延して以降、継続して感染予防に努めている ・児童の置き去り防止シートの取り組みや送迎終了時には全車両の消毒を欠かさずに行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	○		・必要の際は個別の部屋等を使用できるようにしている		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・職員間で情報共有を行っている		
	7	保護者等向け評価表を活用しアンケート調査を実施し保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・職員会議にて共有し、振り返りや改善に向けた話し合いを行っている ・集計結果を基に職員間で可能な改善案を協議している ・アンケート結果で出た意見や疑問等にはすぐに職員間で共有し、業務改善につなげている		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	○		・毎日、2時間程度の打合せを行っており業務改善や支援内容の協議をしている ・職員ひとりひとりが幅広い視点を持ち、感じた事は伝えられる雰囲気の中業務に当たっている ・職員から出た意見についてもすぐに対応し、業務改善につなげることが出来ている		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・外部評価は受けていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	○		・内部研修計画に沿った研修と外部研修にも参加している ・スキルアップ研修や虐待防止、感染症対策、冬道の運転講習など、幅広い研修の機会が設けられている ・随時研修があれば全体で周知している。興味のある研修は受講できている		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○		・職員全員の意見、想いを参考に作成し、HPに公表している。ご覧になってください		
	12	こどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○		・打ち合わせや個別支援計画策定会議にて情報を共有し、年2回アセスメントを作成し、個別支援計画に反映している ・児童発達管理責任者は子どもの様子を職員ひとりひとりから情報を収集し保護者のニーズを汲み取った計画を作成していると思う		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13	個別支援計画を作成する際には児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか	○		・児童発達支援管理責任者個人の考え、視点では必ずしも適切な計画書を作成できないと思っています。当事業所では、現場の職員の視点を最優先に計画を立案している ・ミーティング時に職員全員で検討を行いより良い支援に向けて話し合いを行っている	
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	○		・作成後は職員全員で確認、共有し必要な支援を行うよう努めている	
	15	こどもの適応行動の共有を評価するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		・アセスメントツールは利用していないが定期的に情報共有を図っている	
	16	個別支援計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		・本人の普段の様子から必要な課題を見つけ、ガイドラインを踏まえながら支援内容を設定している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・毎日、2時間程度の打合せを行っており業務改善や支援内容の協議をしている ・職員で話し合いをし、来所する児童に適切な活動プログラムの立案を行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・様々な運動プログラムを行っており、職員、児童ともに楽しみながら行える内容も多い ・同じプログラムにならないように活動が来ている。特性にあわせて、一定期間同じ活動を提供する等、個々のニーズにも対応している ・目的を持って飽きが来ないマンネリ化しない新鮮な活動を日々提供している ・毎日活動プログラムが変わるように工夫している。また、同じ内容を行うにしても少し難易度を上げたりと児童が飽きないよう変化を加えている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか	○		・子どもの状態を最優先し、状況に合わせた計画の立案、療育を展開している ・子どもの様子や課題に合わせて作成、支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか	○		・行っています。毎日必ず打ち合わせを行い活動内容や役割分担等の確認を行っている。またチーム全体での支援に努めている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・毎日、2時間程度の打合せを行っており業務改善や支援内容の協議をしている ・自分の意見を発信できる職場環境です ・子ども達の変化や気になる点があった際には職員間での情報共有を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・毎日、2時間程度の打合せを行っており業務改善や支援内容の協議をしている ・疑問を持ったまま業務にあたっている職員はひとりもなく、高い意識を皆持っています ・小さな事で記録を取るようになり、今後の支援で活用出来るよう努めている	
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか	○		・行っています。定期的にモニタリングや個別支援計画の見直しを行っている。子ども達の成長や課題に合わせた計画になるよう努めている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの4つの基本活動(自立支援と日常生活の充実のための支援、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供)を複数組み合わせる支援を行っているか	○		・ガイドラインに基づき適切な支援を提供しています	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか	○		・子どもの「力」を「気持ち」を第一に支援を行っています ・子どもの自己決定の尊重は支援中も行っている。どうしたいかを問いかけたり、複数の選択肢を出したりと子どもの自己決定力を育てる促しを行っている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか	○		児童発達管理責任者および管理者はもちろんのこと現場職員も広く参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	○		・必要に応じた体制は整えられている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		・必ず下校時に先生からお話を聞き、情報共有と確認を行っている ・連携機関との情報共有は進んでとっている ・情報共有が必要な場合は行うことが出来ている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		・必要に応じた体制は整えられている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		・情報提供はおしみにくく行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか	○		・必要に応じた体制は整えられている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか	○		・毎週水曜日の療育は一般の子どもと活動が出来る体制になっている ・体育館を使用する際、地域の子ども達がいる場合は一緒に活動を行い、地域交流に努めている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○		・代表者が参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・端末を利用した情報共有に加え職員間の引継ぎを行い、問題点などの共有を行っている ・帰りの送迎時や必要に応じて保護者と情報共有を行っている ・送迎時の引継ぎの際に子どもの様子や課題等について保護者と話し合い、理解を深めている	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時にご説明をさせていただいています。ご不明な点がございましたらいつでもご連絡ください	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	○		・モニタリング時に確認させていただいている。保護者のみならず、子どもからの意見も取り入れた上で作成をしている。また、予め保護者と子どもには予定日を伝え、十分な時間を確保した上で確認を行っている	
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		・具体的な支援内容の説明を行い、事業所と家庭とで連携を取りながら進めていきたい事を伝えている。保護者からの同意を得た上でサインを頂いている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	○		・必ず職員全体で話し合いを行い、適切な助言や支援を行っている。また、保護者から希望があった際には必ず応じている	
	40	保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか	○		・親子参加型の交流会を年に数回実施している ・1年に1回以上は保護者も参加出来るイベントを開催し、交流の場を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・窓口が設定されています。詳しくは重要事項説明書をご覧ください ・職員全体で協議し改善につなげている	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか	○		・ イベント案内や季節毎の注意事項などのお知らせの配布、インスタグラムでの発信を行っている ・ LINEやHPにて随時活動の様子や連絡を取っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか	○		・ 実績や送迎ファイル、メモ等の児童の名前が記載されているものや写真の取り扱いには十分注意をし、職員間でも意識するよう声を掛け合っている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・ 夏祭りでは、地域の皆様のご参加ありがとうございます。今後は町主催の防災訓練への参加も検討している ・ 事業所で行う夏祭りイベントに地域の方をを招待し交流を行うことが出来た	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・ 各種マニュアルにおいて必要な訓練研修は実施している ・ 各マニュアルを策定し周知している。また必要な訓練も行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・ 都度変化させながら非常時に備えた訓練を実施している ・ 6月、9月にそれぞれ避難訓練を実施している。実施期間をそれぞれ1週間とし子ども達も参加した避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・ 契約時又は変更時に確認している ・ 契約時に確認を行い、職員間での情報共有を行っている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・ 食事、おやつを食べる際には適切な対応を行っている ・ アレルギーの原因となる食物が付着したタオルや物はその都度交換している。調理活動時は子ども達にも意識するよう呼びかけている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分になされた中で支援が行われているか	○		・ 実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか	○		・ 文章で周知している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	○		・ 業務の見直し、改善につながるツールであり、積極的に行っていきたい ・ 危険行為があった際はすぐにヒヤリハットを作成し、職員間での共有、防止に努めている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・ 定期的に実施し「支援力」「環境」について考え虐待防止への意識は高まっている ・ 随時研修等を開催し、虐待防止に努める話し合いを行っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	○			